



四季便り

ご挨拶

慈愛園老人ホーム・ケアハウス施設長
潮谷有二

前任の中園三千代施設長からのバトンを受け、2021（令和3）年4月1日に慈愛園老人ホームと慈愛園ケアハウスの施設長を拝命し、身の引き締まる思いで日々の業務に当たっております。

御承知の通り、日本では急速に少子高齢化が進行し、それに伴い国民の医療、福祉、介護ニーズは増大化、複雑化、多様化してきております。そして、これらの社会的ニーズに対応するために日本政府は、地域共生社会の実現を掲げ、様々な社会保障制度改革を行っています。しかしながら、社会福祉を取り巻く状況は依然として厳しく、難局における福祉サービス提供組織の在り方そのものが問われております。

そこで、このような状況の中で「我々福祉従事者がなすべきは何か」という問いをしたとき、私は、創立から100年余の歴史を通して日本における社会福祉の向上に先駆的、開発的、専門的に寄与してきた社会福祉法人慈愛園の福祉実践にその答えがあるのではないかと考えております。

これを踏まえ、私ども慈愛園老人ホーム・ケアハウス職員一同は、御入居されている一人一人が尊厳を有して安全に安心して生活することができる「Home（住まい）」の実現を目指して不断の努力をする所存でございます。また、私たちの福祉実践の基盤である慈愛園創立者モード・パウラス博士の揺るぎないキリスト教への信仰と社会事業への使命を継承していきます。

皆様には、これからも私どもの福祉実践への御理解と御支援、御協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

♪ 新人職員紹介 ♪

この度、4月1日付けで調理室に勤務しています吉里です。前職では、小中学校の給食共同調理場に12年務めていました。出身は、阿蘇の高森です。5年前の熊本地震により南阿蘇は電車が不通の為、通勤通学が困難な状態です。その為、娘の高校入学を機に熊本市内での生活を決意しました。すべてが新しい環境となり色々と不安の多い中、職場の先輩方に支えて頂きながらの日々です。また、入居者の方から声をかけて頂いたりとありがとうございます。まだまだ、覚えないといけないことばかりですが皆様のお役に立てるように頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

調理員 吉里 晴美



今年度4月より、またご縁がありケアハウスにて支援員として働かせて頂く事になりました坂口です。

館内の掃除をしていると、皆さんに温かい言葉をいつもかけていただきとても嬉しく元気な気持ちになります。皆様が過ごしやすく、快適な環境作りが出来るよう頑張っ行ってこうと思います。

宜しくお願い致します。

ケアハウス 坂口 麻美

